

Mizuho Daily Market Report

2024/7/15

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	159.28	157.83	▲1.01	▲2.92
EUR	1.0875	1.0907	+0.0039	+0.0067
AUD	0.6769	0.6784	+0.0025	+0.0035
SGD	1.3437	1.3409	▲0.0019	▲0.0077
CNY	7.2617	7.2504	▲0.0075	▲0.0179
MYR	4.6699	4.6715	▲0.0160	▲0.0372
THB	36.19	36.19	▲0.08	▲0.39
IDR	16137	16138	▲57	▲140
PHP	58.39	58.39	+0.08	▲0.14
INR	83.54	83.54	▲0.03	+0.04
VND	25425	25416	▲11	▲1

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.183%	▲2.7 bp	▲9.6 bp
日本(10年)	1.065%	▲2.5 bp	▲1.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.496%	+3.3 bp	▲6.0 bp
オーストラリア(5年)	4.058%	▲5.4 bp	▲10.1 bp
シンガポール(5年)	3.096%	▲9.4 bp	▲11.0 bp
中国(5年)	1.990%	▲0.5 bp	▲0.1 bp
マレーシア(5年)	3.621%	▲1.5 bp	▲2.7 bp
タイ(5年)	2.368%	▲1.6 bp	▲8.1 bp
インドネシア(5年)	6.850%	▲4.4 bp	▲9.8 bp
フィリピン(5年)	6.063%	▲6.2 bp	▲16.4 bp
インド(5年)	6.978%	▲0.7 bp	▲1.6 bp
ベトナム(5年)	2.130%	+0.0 bp	+1.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	40,000.90	+0.6%	+1.6%
N225(日本)	41,190.68	▲2.4%	+0.7%
STOXX50(ユーロ圏)	5,043.02	+1.3%	+1.3%
ASX(オーストラリア)	4,522.75	+0.3%	+0.8%
FTSE(シンガポール)	3,497.78	+0.7%	+2.5%
SSEC(中国)	2,971.30	+0.0%	+0.7%
SENSEX(インド)	80,519.34	+0.8%	+0.7%
JKSE(インドネシア)	7,327.58	+0.4%	+1.0%
KLSE(マレーシア)	1,619.06	▲0.3%	+0.5%
PSE(フィリピン)	6,648.23	+0.6%	+2.4%
SETI(タイ)	1,332.04	+0.2%	+1.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,280.75	▲0.2%	▲0.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	290.44	+0.0%	▲1.0%
金	2,411.43	▲0.2%	+0.8%
原油(WTI)	82.21	▲0.5%	▲1.1%
銅	9,726.88	+1.0%	▲0.7%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	157.40	—	161.80
EUR/USD	1.0770	—	1.1050
AUD/USD	0.6685	—	0.6980
USD/SGD	1.3360	—	1.3630
USD/CNY	7.2460	—	7.3290
USD/INR	4.5400	—	4.7230
USD/THB	35.80	—	37.65
USD/IDR	16050	—	16950
USD/PHP	57.80	—	60.70
USD/VND	83.00	—	84.10
USD/VND	25,000	—	26,000

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は、オセアニア市場にて押し目買い優勢の中、突如157円台後半まで急落。その後、158円台前半レベルに戻してオープン。「日銀が対ユーロでレートチェック」との報道に、東京時間の安値となる157円台後半まで下押し。ただ、下押しは続かず、水準を戻す展開。水準が変わったとはいえ、実需筋の動きは大きくはなく、むしろ三連休前のポジション調整的な流れに終始。159円台前半で欧州へ渡った。アジア通貨はまちまちで、方向感に乏しい展開となった。

海外市場のドル円は158円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された米6月PPI(前月比)は予想を上回り、前回分の結果も上方修正されるも、9月の利下げ観測は依然根強く、米金利は低下。その後、再び為替介入を連想させるような値動きから、一時157円台前半まで急落。その後は158円台半ばまで買い戻されるも、続いて発表された米シカゴ大学消費者マインド指数が予想を下回ったことや、5-10年先の期待インフレ率も前回より低下した事を受け、再び157円台半ばまで反落。その後は売り一巡となり、157円台後半まで買い戻される。午後は週末を控え、クローズ直前に売りが強まり、その後157円台半ばでクローズした。

【金利】

米金利は低下。9月利下げ観測が強まる中、米シカゴ大学消費者マインド指数が予想を下回ったことや、5-10年先の期待インフレ率が前回より低下した事を受け、米金利の低下が継続した。米10年債利回りは4.18%台でクローズした。

【予想】

本日のドル円は上値の重い展開を予想。東京休日となる中、連日の為替介入関連報道もあり、警戒感が引き続き高い状況が続くと思われる。一方で、トランプ大統領の襲撃事件などもあり、トランプ陣営に対する期待が今後も高まっていく可能性もあり、7月末に控える日銀金融政策決定会合を越えた後のドル高再起動には留意が必要となりそうだ。

【本日の予定】

(日本) 休場 海の日
(アジア) 2Q 中国 GDP
(アジア) 5月 フィリピン フィリピン労働者送金
(アジア) 6月 インド 卸売物価
(アジア) 6月 インド 貿易収支
(アジア) 6月 インドネシア 貿易収支
(アジア) 6月 中国 不動産投資 / 調査失業率
(アジア) 6月 中国 新築住宅価格
(アジア) 6月 中国 鉱工業生産 / 小売売上高 / 固定資産投資
(アジア) 中国 LPR (1Y, 5Y)
(欧州) 5月 ユーロ圏 鉱工業生産
(欧州) ユーロ圏財務相会合 (ブリュッセル)
(欧州) 独 国債入札 (12M)
(米国) 7月 ユーロ圏製造業景気指数
(米国) デイリー・サンフランシスコ連銀総裁講演
(米国) ハウエルFRB議長インタビュー

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。